

IX 調査票

[単純集計結果]

回答者について

問1 あなた自身のことについてお伺いします。あてはまる番号に○をつけてください。

①性別

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	男性	903	50.8%	45.1%
2	女性	857	48.2%	54.1%
3	回答しない(無回答含む)【H30ではその他】	19	1.1%	0.8%

②年齢

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	10歳代	18	1.0%	0.4%
2	20歳代	126	7.1%	4.1%
3	30歳代	214	12.0%	7.9%
4	40歳代	386	21.7%	18.8%
5	50歳代	400	22.5%	21.4%
6	60歳代	428	24.1%	29.6%
7	70歳以上	203	11.4%	17.2%
	無回答	4	0.2%	0.7%

③職業(主なものにひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	農林業	88	4.9%	5.6%
2	漁業	4	0.2%	1.2%
3	商工サービス業自営	128	7.2%	7.2%
4	会社員(役員を含む)、公務員	739	41.5%	31.1%
5	自由業(医師、弁護士、画家、僧侶など)	50	2.8%	2.4%
6	主婦・主夫	136	7.6%	12.0%
7	パート、アルバイト	229	12.9%	13.4%
8	学生	49	2.8%	1.2%
9	無職(すでに退職を含む)	253	14.2%	18.5%
10	その他	92	5.2%	6.3%
	無回答	11	0.6%	1.0%

④同居しているご家族は何人いますか。

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	0人(独居)	143	8.0%	8.6%
2	1人	428	24.1%	26.1%
3	2人	441	24.8%	25.2%
4	3人	390	21.9%	20.9%
5	4人	227	12.8%	10.4%
6	5人	92	5.2%	4.8%
7	6人以上	52	2.9%	3.2%
	無回答	6	0.3%	0.7%

⑤同居するご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃいますか。

(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	3歳以下の乳幼児	108	6.1%	4.2%
2	4歳以上で小学校入学前の子ども	90	5.1%	4.0%
3	小学生	221	12.4%	8.4%
4	70歳以上の人	533	30.0%	34.4%
5	日常生活で介護や支援を必要とする人	108	6.1%	8.5%
6	妊産婦	8	0.4%	0.3%
7	1~6の人はいない	920	51.7%	42.6%
	無回答	41	2.3%	9.6%

南海トラフ地震に関する認識について

南海トラフを震源とする地震は、これまで概ね90年から150年ごとに発生し、高知県はそのたびに大きな被害を受けてきました。昭和21年(1946年)12月に発生した昭和南海地震から70年以上が経過し、南海トラフのどこかでマグニチュード8以上の地震が発生する確率は、今後30年以内に70%~80%程度と公表されています。

問2 南海トラフ地震について既にご存知でしたか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	知っていた	1,748	98.3%	97.5%
2	この調査票などを見るまで知らなかった	23	1.3%	1.6%
	無回答	8	0.4%	0.8%

問3 南海トラフ地震が起きた場合、あなたのお宅やお住まいの地域ではどのような危険があると感じていますか。(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	揺れで、建物に被害が出る	1,437	80.8%	84.6%
2	揺れで、家具が転倒する	1,347	75.7%	79.7%
3	火災	704	39.6%	42.3%
4	津波	871	49.0%	45.3%
5	山崩れ、がけ崩れ	596	33.5%	35.1%
6	危険はない	20	1.1%	0.7%
7	その他	57	3.2%	4.5%
	無回答	6	0.3%	0.4%

問4 もし、あなたが自宅において「地震が発生しました。強い揺れに備えてください」という緊急地震速報*をテレビなどで知ったときどうしますか。
(当てはまるものすべてに○)

*緊急地震速報とは、地震による強い揺れが発生することを事前（揺れる前）にテレビやラジオ、携帯電話などでお知らせするものです。

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	机の下にもぐるなど安全なところを探して身を守る	1,303	73.2%	68.2%
2	急いで外に出る	484	27.2%	33.4%
3	家族に危険を知らせる	954	53.6%	54.4%
4	何もしない	46	2.6%	2.6%
5	その他	52	2.9%	5.3%
	無回答	6	0.3%	0.5%

問5 普段、情報をよく収集するメディアはなんですか。(2つまで○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	新聞	542	30.5%	40.8%
2	テレビ	1,487	83.6%	89.0%
3	ラジオ	142	8.0%	10.5%
4	インターネット(パソコン、スマートフォン等)	1,070	60.1%	41.8%
5	街頭のチラシ、ポスター、掲示板	24	1.3%	0.9%
6	その他	6	0.3%	0.4%
	無回答	3	0.2%	0.3%

問6 高知県では、様々な手段で南海トラフ地震対策の啓発を行っています。

これまで、ご覧になったり、お聞きになったりして印象に残っているものはどれですか。(3つまで○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	啓発テレビ番組、テレビCM	1,544	86.8%	89.6%
2	啓発ラジオ番組、ラジオCM	260	14.6%	18.2%
3	新聞広告	565	31.8%	42.8%
4	路面電車、路線バスの吊り広告	43	2.4%	2.1%
5	県のホームページ	169	9.5%	6.3%
6	啓発冊子「南海トラフ地震に備えちょき」※R2年度に全戸配布済	933	52.4%	53.7%
7	イベント等に出展している高知県ブース	53	3.0%	7.3%
8	起震車体験	223	12.5%	R3 新規項目
9	その他	52	2.9%	2.3%
	無回答	12	0.7%	0.7%

問7 啓発テレビ番組、テレビCMを魅力的で分かりやすくするには、どうすれば良いと思いますか。(3つまで○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	目を引くようなデザインで、映像を工夫する	596	33.5%	33.0%
2	専門用語など分かりづらい表現は、言い方を変えたり解説をつける	927	52.1%	54.2%
3	県民に伝えたいことや協力してほしいことなどメッセージ性があるものにする	1,100	61.8%	64.7%
4	タレントやスポーツ選手など、有名人に出演してもらう	237	13.3%	12.9%
5	マンガやアニメで制作する	401	22.5%	17.5%
6	特に変える必要はない	125	7.0%	10.0%
7	わからない	117	6.6%	4.6%
8	その他	83	4.7%	4.2%
	無回答	8	0.4%	1.3%

問8 南海トラフ地震対策の広報活動を充実させるために、どのようなことを中心に取り上げるべきだと思いますか。(3つまで○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	県の政策・取り組みをより詳しく紹介する	622	35.0%	35.6%
2	県全体の政策・取り組みをバランスよく紹介する	443	24.9%	22.5%
3	県の新しい政策・取り組みなど最新情報を優先的に紹介する	568	31.9%	34.1%
4	県の取り組みの動きや成果を節目ごとに紹介する	427	24.0%	21.6%
5	災害発生時に役立つ情報を優先的に紹介する	1,247	70.1%	72.6%
6	県民が参加できるイベントや講座等の情報を多く掲載する	369	20.7%	24.4%
7	特にない	38	2.1%	2.4%
8	わからない	101	5.7%	3.7%
9	その他	45	2.5%	3.7%
	無回答	6	0.3%	0.9%

津波避難対策について

南海トラフ地震が発生すると強い揺れの後に津波が沿岸部を襲います。津波から命を守るためには、揺れがおさまったら、津波警報や市町村からの避難の呼びかけを待たずにすぐに逃げることや、避難場所を確認しておくことが大変重要となります。

問9 あなたのお宅は津波で浸水が予測される地域ですか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	津波で浸水が予測される地域である	799	44.9%	46.2%
2	津波で浸水が予測される地域ではない	831	46.7%	45.9%
3	わからない	140	7.9%	7.1%
	無回答	9	0.5%	0.7%

問10 問9で「1. 津波で浸水が予測される地域である」と回答した人におたずねします。
 あなたのお宅まで津波が到達する時間や浸水する深さを知っていますか。
 (ひとつだけ○)

※津波は30cmの深さで避難できなくなり、1mになると命を落とすと言われています。

	区分	R3 (n=799)		H30 (n=877)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	地域の津波避難計画※で知った	137	17.1%	26.6%
2	市町村のハザードマップ※※で知った	400	50.1%	38.3%
3	県のホームページで知った	23	2.9%	3.5%
4	新聞で知った	14	1.8%	5.0%
5	知らない	200	25.0%	20.1%
6	その他	22	2.8%	4.6%
	無回答	3	0.4%	1.9%

※地域の津波避難計画とは、お住まいの地域の津波浸水予測や避難経路、避難場所などを明らかにし、いざというときに安全に避難するために作成するものです。

※※ハザードマップとは、津波浸水予測や避難経路、避難場所などの情報を地図上に示したものです。

問11 問10で「1. 地域の津波避難計画で知った」、「2. 市町村のハザードマップで知った」、「3. 県のホームページで知った」、「4. 新聞で知った」と回答した人におたずねします。

あなたのお宅まで津波が到達する時間を具体的に知っていますか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=574)	
		回答数(人)	回答比率
1	10分未満	104	18.1%
2	30分未満	219	38.2%
3	60分未満	55	9.6%
4	60分以上	33	5.7%
5	具体的な時間は知らない	160	27.9%
	無回答	3	0.5%

問12 あなたがご自宅にいるときに、今まで経験したことがないような大きな揺れに襲われ、その揺れが1分以上続いたとします。あなたはいつ避難しますか。
(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=799)		H30 (n=877)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	揺れがおさまった後、すぐに	566	70.8%	68.8%
2	津波警報が出たら	85	10.6%	12.9%
3	市町村から避難の呼びかけがあったら	52	6.5%	7.8%
4	周りの人が避難したら	14	1.8%	2.4%
5	家族が避難したら	22	2.8%	2.3%
6	自宅の浸水想定が30cm未満であるため、状況を判断してから	18	2.3%	R3 新規項目
7	マンション等の高層階に住んでいるため避難しない	23	2.9%	2.3%
8	避難しない	16	2.0%	3.1%
	無回答	3	0.4%	0.6%

問13 問12で「2. 津波警報が出たら」～「6. 自宅の浸水想定が30cm未満であるため、状況を判断してから」、「8. 避難しない」と回答した人におたずねします。
すぐに避難しない理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=207)		H30 (n=249)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	津波が到達するまで時間があるため	21	10.1%	13.3%
2	本当に逃げる必要があるのか、状況を判断してから避難するため	135	65.2%	63.1%
3	避難経路が危険なので、自宅に留まる方が安全だと思うため	21	10.1%	9.2%
4	自身や家族の体力や健康上の理由により、避難が困難なため	21	10.1%	15.3%
5	家や家財を残して避難することに抵抗があるため	14	6.8%	2.8%
6	その他	9	4.3%	5.6%
	無回答	33	15.9%	13.7%

問14 津波からの避難場所*を確認していますか。(ひとつだけ○)

*避難場所とは市町村が指定した高台や津波避難ビル、津波避難タワーなどのことです。

	区分	R3 (n=773)		H30 (n=877)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	確認している	693	89.7%	92.5%
2	確認していない	74	9.6%	6.2%
	無回答	6	0.8%	1.4%

問15 問14で「1 確認している」と回答した人におたずねします。

あなたはどこに避難しますか。(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=693)		H30 (n=811)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	行政や地域住民が決めた避難場所	472	68.1%	69.9%
2	自宅近くの高台、高所	347	50.1%	45.6%
3	その他	24	3.5%	3.0%
	無回答	7	1.0%	1.0%

問16 避難場所や避難経路に対して、どのような不安がありますか。

(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=773)		H30 (n=877)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	避難場所への移動に時間がかかる	269	34.8%	34.2%
2	避難場所への移動手段がない	32	4.1%	4.8%
3	避難経路が土砂崩れにより、通れなくなる	142	18.4%	18.7%
4	避難経路が建築物やブロック塀などの倒壊により、通れなくなる	273	35.3%	39.5%
5	避難場所が低地にある	72	9.3%	9.5%
6	避難場所の近くに崖がある	30	3.9%	7.3%
7	不安はない	167	21.6%	18.1%
8	その他	83	10.7%	10.4%
	無回答	26	3.4%	5.7%

問17 同居するご家族の中に(ご自身を含む)、自力で避難することが難しい高齢者や障害者などの方がいらっしゃる場合、避難場所までの避難について家族以外の誰かの支援が必要ですか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=773)	
		回答数(人)	回答比率
1	必要がある	144	18.6%
2	必要はない	238	30.8%
3	支援が必要な方はいない	351	45.4%
	無回答	40	5.2%

【参考】

※要配慮者：高齢者や障害者など災害時に支援が必要な方

※避難行動要支援者：要配慮者のうち、自力での避難が難しい方

家庭での備えについて

問18 あなたがお住まいの地域では、避難について支援が必要な方の避難を地域住民や自主防災組織が支援する体制（自力で避難することが難しい方の個別避難計画の作成や、避難後の対策等）ができていますか。（ひとつだけ○）

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	できている	240	13.5%	8.1%
2	できていないが検討している（直接関わっていないが、検討していることを知っている）	185	10.4%	8.1%
3	できていない	272	15.3%	23.9%
4	よく知らない	1,058	59.5%	58.8%
	無回答	24	1.3%	1.2%

南海トラフ地震が発生すると地域が孤立したり、被害が広範囲に及ぶため県外などからの支援がすぐには届かないことも想定されます。このため食料や飲料水などを家庭で備蓄することが大変重要となります。

※高知県としては3日分以上の備蓄を推奨しています。

問19 あなたのお宅では南海トラフ地震に備え、食料を備蓄していますか。（備蓄には、日常に使用できる食品を少し多く買い置きすることも含みます。）（ひとつだけ○）

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	7日分以上を備蓄している	82	4.6%	3.3%
2	3日～6日分を備蓄している	570	32.0%	18.9%
3	1日～2日分を備蓄している	582	32.7%	41.7%
4	備蓄していない	533	30.0%	35.8%
	無回答	12	0.7%	0.3%

問20 問19で「3. 1日～2日分を備蓄している」、「4. 備蓄していない」と回答した人におたずねします。

3日分以上の食料を備蓄していないのはどのような理由からですか。

(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,115)		H30 (n=680)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	必要性を感じていない	133	11.9%	17.6%
2	費用がかかる	178	16.0%	15.1%
3	置き場所がない	149	13.4%	8.5%
4	アルファ米や乾パンなどの保存食を準備するのが面倒である	85	7.6%	10.6%
5	保存期限ごとに買い替えるのが面倒である	368	33.0%	27.5%
6	その他(例:自給自足の生活をしている など)	170	15.2%	19.0%
	無回答	32	2.9%	1.6%

問21 あなたのお宅では南海トラフ地震に備え、飲料水を備蓄していますか。

(備蓄には、日常に使用できる飲料水を少し多く買い置きすることも含みます。)

(ひとつだけ○)

※1人1日3リットルの水が飲料用に必要であると言われています。

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	7日分以上を備蓄している	129	7.3%	3.7%
2	3日～6日分を備蓄している	518	29.1%	16.5%
3	1日～2日分を備蓄している	549	30.9%	40.5%
4	備蓄していない	557	31.3%	38.1%
	無回答	26	1.5%	1.2%

問22 問21で「3. 1日～2日分を備蓄している」、「4. 備蓄していない」と回答した人におたずねします。

3日分以上の飲料を備蓄していないのはどのような理由からですか。

(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,106)		H30 (n=724)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	必要性を感じていない	110	9.9%	20.4%
2	費用がかかる	123	11.1%	11.5%
3	置き場所がない	238	21.5%	15.3%
4	保存用の飲料水を準備するのが面倒である	125	11.3%	15.9%
5	保存期限ごとに買い替えるのが面倒である	296	26.8%	R3 新規項目
6	その他(例:井戸がある など)	194	17.5%	33.8%
	無回答	20	1.8%	3.0%

問23 南海トラフ地震発生時には、下水道が被災するため、トイレが使えなくなることが想定されます。あなたは南海トラフ地震で自宅のトイレが使えなくなったら、どのように対応しますか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	携帯トイレや簡易トイレを備蓄している	338	19.0%	11.4%
2	携帯トイレや簡易トイレをこれから備蓄する予定	240	13.5%	10.3%
3	避難所のトイレを使用する	360	20.2%	23.1%
4	他に使用できる場所(避難所以外、屋外等)を探す	248	13.9%	20.5%
5	自宅トイレは汲み取り式なので、地震後も使用できる	232	13.0%	14.0%
6	特に考えていない	298	16.8%	16.0%
7	その他	50	2.8%	3.5%
	無回答	13	0.7%	1.2%

問24 問23で「3 携帯トイレや簡易トイレを備蓄している」と回答した人におたずねします。

どのくらい備蓄していますか。(ひとつだけ○)

※1人1日の平均排泄回数は5回とされています。

	区分	R3 (n=338)		H30 (n=216)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	1日～2日分を用意している	182	53.8%	65.7%
2	3日～6日分を用意している	104	30.8%	25.0%
3	7日分以上を用意している	47	13.9%	7.9%
	無回答	5	1.5%	1.4%

問25 あなたのお宅では南海トラフ地震などへの備えとして、どのようなことを行っていますか。(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	家族がバラバラになったときの連絡方法や集合する場所を決めている	618	34.7%	30.8%
2	食器棚などのガラス面に飛散防止フィルムを貼っている	111	6.2%	6.4%
3	安全に避難できるように枕元に靴などを置いている	196	11.0%	11.2%
4	非常持ち出し品を用意している	706	39.7%	35.1%
5	浴槽にいつも水をためている	202	11.4%	15.7%
6	消火器を用意している	359	20.2%	21.9%
7	懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している	1,243	69.9%	71.2%
8	調理用燃料を備蓄している	486	27.3%	26.4%
9	その他	107	6.0%	6.1%
	無回答	60	3.4%	5.7%

問26 普段から医師により処方された薬を服用していますか。また、服用している場合、南海トラフ地震が起きたら、すぐに持ち出せますか（外出時も含めます）。（ひとつだけ○）

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=950)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	服用していない	952	53.6%	48.6%
2	服用しており、すぐに持ち出せる	616	34.6%	37.0%
3	服用しているが、すぐには持ち出せない	200	11.2%	13.1%
	無回答	11	0.6%	1.3%

問27 問26で「2. 服用しており、すぐに持ち出せる」、「3. 服用しているが、すぐには持ち出せない」と回答した人におたずねします。

あなたが現在服用しているお薬を避難所等で確認できる手段はありますか。

（ひとつだけ○）

	区分	R3 (n=816)		H30 (n=950)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	お薬手帳（紙版）を常に持ち歩いている	224	27.5%	34.6%
2	お薬手帳（電子版）を利用しており、スマートフォンを常に持ち歩いている	42	5.1%	2.6%
3	携帯電話でお薬手帳の情報を写真に納め、常に持ち歩いている	47	5.8%	3.2%
4	薬と一緒にもらった薬剤情報提供書を常に持ち歩いている	41	5.0%	6.1%
5	記憶している	199	24.4%	21.4%
6	特にない	223	27.3%	24.3%
7	その他	22	2.7%	3.9%
	無回答	18	2.2%	3.9%

問28 お薬手帳（電子版）は、スマートフォン内で情報管理ができるため、ご自身に加え、ご家族の服薬情報も保管でき、携帯性が高いため、災害時には大変有用なツールとなりますが、あなたは利用したいと思いますか。（ひとつだけ○）

※お薬手帳（電子版）はスマートフォンでのみ利用可能

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	すでに利用している	93	5.2%	3.4%
2	利用しようと思う	487	27.4%	18.7%
3	利用したいが、やり方がわからない	404	22.7%	19.8%
4	スマートフォンを持っていないため、利用できない	174	9.8%	24.4%
5	利用する予定はない	572	32.2%	28.2%
	無回答	49	2.8%	5.6%

問29 あなたのお宅は地震に備えるための保険や共済などに加入していますか。
(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	加入している	1,156	65.1%	65.9%
2	加入していない	401	22.5%	23.9%
3	わからない	214	12.0%	9.3%
	無回答	8	0.4%	0.9%

※地震によって発生した火災は、火災保険では補償されません。地震による建物（住宅）や家財の損害に備えるためには、火災保険にセットして地震保険に加入する必要があります。
(地震保険だけの加入はできません。)

問30 普段、車に給油するためにガソリンスタンドに行くのは、燃料タンクの残量がどれくらいになった時ですか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	残量が半分くらいになった時	520	29.2%	19.7%
2	残量が4分の1程度になった時	719	40.4%	41.0%
3	残量がほとんど無くなった時	388	21.8%	27.1%
4	車を運転しないので、給油する機会はない	137	7.7%	10.7%
	無回答	15	0.8%	1.5%

問31 問30で「1. 残量が半分くらいになった時」、「2. 残量が4分の1程度になった時」、「3. 残量がほとんど無くなった時」と回答した人におたずねします。

普段、ガソリンスタンドで車に給油する時は、どれくらいの量を入れますか。
(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,627)		H30 (n=1,666)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	満タンにする	1,333	81.9%	80.9%
2	満タンにせずに、一定の量を入れる	57	3.5%	4.1%
3	満タンにせずに、一定の金額分を入れる	226	13.9%	14.0%
	無回答	11	0.7%	1.0%

地震の揺れ対策について

南海トラフ地震が発生すると、強い揺れにより建物が全半壊するなど、大きな被害を受けることが想定されます。さらに揺れによって建物が被害を受けた場合、すぐに襲ってくる津波から避難することが困難となり、被害をさらに拡大させることとなります。

このため住宅の耐震化や家具の固定、ブロック塀の倒壊防止など県民の皆様の備えが大変重要となります。

家具や家電などの固定について

強い揺れにより、家具（タンス、本棚、食器棚、戸棚）や家電（冷蔵庫、電子レンジ、テレビ）などが倒れたり、飛んでくることがあります。耐震金具などにより家具や家電などを固定することや、配置の見直しをするなど室内の安全対策が大変重要となります。

問3 2 あなたのお宅では家具や家電などの固定をしていますか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	固定している	361	20.3%	17.1%
2	寝室（子供部屋を含む）だけは固定している	131	7.4%	6.6%
3	固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない	1,093	61.4%	65.9%
4	固定が必要な家具や家電などを居室内に置いていない	176	9.9%	9.2%
	無回答	18	1.0%	1.3%

問3 3 問3 2で「2. 寝室（子供部屋を含む）だけは固定している」、「3. 固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」と回答した人におたずねします。

固定していない家具や家電などとは何ですか。(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=1,224)		H30 (n=1,376)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	タンス	715	58.4%	63.4%
2	本棚	456	37.3%	40.8%
3	食器棚	755	61.7%	64.7%
4	戸棚	279	22.8%	24.9%
5	冷蔵庫	1,017	83.1%	84.6%
6	電子レンジ	846	69.1%	68.0%
7	テレビ	898	73.4%	75.7%
8	ピアノ	169	13.8%	13.7%
9	その他	15	1.2%	2.5%
	無回答	23	1.9%	3.2%

問34 家具や家電などの固定をしていないのはどのような理由からですか。

(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=1,224)		H30 (n=1,376)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	建物や家具を傷つける	157	12.8%	8.9%
2	固定の方法がわからない	259	21.2%	23.5%
3	借家である	119	9.7%	7.8%
4	費用がかかる	312	25.5%	23.5%
5	手間がかかる	479	39.1%	35.6%
6	固定しなくても大丈夫だと思う	181	14.8%	10.5%
7	固定しても被害は出ると思う	265	21.7%	27.5%
8	南海トラフ地震はすぐには起きないと思う	75	6.1%	7.6%
9	地震災害に関心がない	17	1.4%	1.1%
10	その他	124	10.1%	13.5%
	無回答	26	2.1%	3.5%

問35 家具や家電などの固定について、取付け工賃等の補助制度があることをご存知ですか。(ひとつだけ○) ※市町村によっては補助制度がない場合があります。

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	知っている	468	26.3%	21.7%
2	知らない	1,285	72.3%	76.1%
3	既に利用した(利用中を含む)	8	0.4%	0.6%
	無回答	18	1.0%	1.6%

問36 家具や家電などの固定を促進するために、県や市町村では何をすべきだと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備	625	35.1%	35.4%
2	詳しい固定方法や費用などを説明したパンフレットの配布などによる周知	1,104	62.1%	63.2%
3	固定してくれる専門家の派遣	469	26.4%	28.1%
4	必要な費用の補助(取り付け金具を含む)	917	51.5%	47.5%
5	個人宅なので行政は何もすべきでない	61	3.4%	2.9%
6	その他	49	2.8%	3.8%
	無回答	53	3.0%	4.1%

ブロック塀などの倒壊防止について

強い揺れにより倒壊した塀の下敷きになって死傷することや、倒壊した塀が避難や消火活動を妨げる場合があります。是非、ご自分でブロック塀などの安全性を点検してください。(添付のチラシに点検項目がございますのでご利用ください。)

点検後、危険な場合は、安全なフェンスや生け垣に変えるなど安全対策を行うことが重要となります。

問37 あなたのお宅の敷地にはブロック塀や石塀、門柱などがありますか。

(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	ある	1,007	56.7%	61.7%
2	危険なので取り壊した	11	0.6%	0.7%
3	安全なフェンスや生け垣に変えた	41	2.3%	2.1%
4	もともとない	684	38.4%	33.3%
5	その他	22	1.2%	1.5%
	無回答	14	0.8%	0.7%

問38 問37で「1. ある」と回答した人におたずねします。

ブロック塀や石塀、門柱などの地震時の安全性を点検しましたか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,007)		H30 (n=1,172)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	点検した結果、安全である	149	14.8%	15.5%
2	点検した結果、危険である	62	6.2%	5.6%
3	点検していない	647	64.2%	64.8%
4	わからない	147	14.6%	13.5%
	無回答	2	0.2%	0.5%

問39 問38で「3. 点検していない」と回答した人におたずねします。

安全性について点検していないのはどのような理由からですか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=647)		H30 (n=760)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	点検するまでもなく危険である	62	9.6%	12.9%
2	点検の方法がわからない	220	34.0%	30.0%
3	点検しなくても安全と思う	120	18.5%	20.8%
4	費用がかかる	80	12.4%	11.7%
5	借家である	45	7.0%	5.3%
6	手間がかかる	20	3.1%	3.0%
7	対策しても被害は防げないと思う	31	4.8%	5.0%
8	南海トラフ地震はすぐには起きないと思う	4	0.6%	1.1%
9	地震被害に関心がない	4	0.6%	0.1%
10	その他	48	7.4%	8.8%
	無回答	13	2.0%	1.3%

問40 問38で「2. 点検した結果、危険である」、「3. 点検していない」と回答した人におたずねします。

今後、危険性の高いブロック塀や石塀、門柱などを安全なフェンスや生け垣などに変える予定はありますか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=709)		H30 (n=826)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	変える予定がある	21	3.0%	2.1%
2	変える予定はない	287	40.5%	44.6%
3	検討中	77	10.9%	12.8%
4	わからない	178	25.1%	19.7%
	無回答	146	20.6%	20.8%

問41 県や市町村では、危険なコンクリートブロック塀の改修工事など、安全対策にかかる費用の一部を補助していますが、自宅の塀について、自己負担がどのくらいの金額なら安全対策をしてもよいと思いますか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=709)	
		回答数(人)	回答比率
1	0円	220	31.0%
2	10万円まで	312	44.0%
3	20万円まで	76	10.7%
4	40万円まで	25	3.5%
5	60万円まで	15	2.1%
6	80万円まで	2	0.3%
7	100万円まで	8	1.1%
8	100万円以上でもよい	8	1.1%
	無回答	43	6.1%

問4 2 市町村が国、県の支援を受けて緊急輸送路や避難路に面している危険性の高いブロック塀などの解体又は安全なフェンスや生け垣などに改修する費用に対して補助（上限 20.5 万円）をしていますか。ご存知ですか。（ひとつだけ○）
※市町村によっては補助制度がない場合があります。

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	知っている	313	17.6%	17.2%
2	知らない	1,435	80.7%	79.8%
3	既に利用した（利用中を含む）	6	0.3%	0.2%
	無回答	25	1.4%	2.8%

問4 3 問4 2で「1. 知っている」、「3. 既に利用した（利用中を含む）」と回答した人におたずねします。

どのようにして、この補助金制度を知りましたか。

（当てはまるものすべてに○）

	区分	R3 (n=319)		H30 (n=329)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	ポスター、パンフレット	96	30.1%	30.4%
2	知人、親族から聞いて	68	21.3%	12.5%
3	市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて	101	31.7%	22.8%
4	イベント、講演会	15	4.7%	6.7%
5	新聞、広告、広報誌	97	30.4%	37.7%
6	テレビ、ラジオ	51	16.0%	29.8%
7	その他	12	3.8%	4.9%
	無回答	3	0.9%	1.8%

問4 4 今後、ブロック塀や石塀、門柱などの倒壊防止を促進するために、県や市町村は、何をすべきだと思いますか。（当てはまるものすべてに○）

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備	715	40.2%	38.4%
2	パンフレットの配布などによる周知（安全性の点検方法や補助制度などを詳しく説明）	961	54.0%	49.7%
3	専門家による無料点検の実施	1,028	57.8%	59.9%
4	信頼できる工事事業者の紹介	562	31.6%	29.5%
5	解体又は安全なフェンスや生け垣などに造り替える費用に対する補助の増額	693	39.0%	38.7%
6	個人宅なので行政は何もすべきでない	33	1.9%	1.9%
7	その他	46	2.6%	4.0%
	無回答	62	3.5%	4.5%

住宅の耐震化について

地震による住宅の倒壊は、命が失われる直接的な原因となるだけでなく、その後の地震火災の発生や拡大、津波からの逃げ遅れにつながるほか、倒壊した住宅のがれきが道路をふさいでしまうことによって消防活動や救急搬送が阻害され、さらに多くの命が失われることにもなります。

昭和56年5月31日以前の旧耐震基準で建築された住宅は耐震診断を受け、耐震化が必要な場合は耐震改修を行いましょう。

問45 あなたのお宅（持家、借家に関わらず）の建築年と構造をお答えください。
増改築されている場合は、主な部分の建築年としてください。（ひとつだけ○）

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	昭和56年5月以前の木造住宅	424	23.8%	31.1%
2	昭和56年6月以降で平成12年5月以前の木造住宅	370	20.8%	24.7%
3	平成12年6月以降の木造住宅	412	23.2%	17.6%
4	昭和56年5月以前の非木造住宅	68	3.8%	3.6%
5	昭和56年6月以降の非木造住宅	272	15.3%	14.4%
6	わからない	205	11.5%	6.7%
	無回答	28	1.6%	1.9%

問46 問45で「1. 昭和56年5月以前の木造住宅」と回答した人におたずねします。
専門家による耐震診断（地震の揺れに対する建物の強さの診断）を受けたことがありますか。また、その結果はどうでしたか。（ひとつだけ○）

	区分	R3 (n=424)		H30 (n=590)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	診断を受けた結果、耐震性がなく耐震改修が必要と診断された	106	25.0%	22.2%
2	診断を受けた結果、耐震性があり耐震改修は必要ないと診断された	9	2.1%	2.4%
3	診断を受けたことはない	304	71.7%	73.2%
	無回答	5	1.2%	2.2%

問47 問46で「1. 診断を受けた結果、耐震性がなく耐震改修が必要と診断された」と回答した人におたずねします。

耐震改修工事を行いましたか。また、建て替えなどを予定していますか。

(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=106)		H30 (n=131)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	耐震改修工事を行った	69	65.1%	43.5%
2	今後、耐震改修工事を行う、または、建て替える予定	8	7.5%	16.8%
3	耐震改修工事も建て替えも行う予定はない	19	17.9%	21.4%
4	検討中	9	8.5%	17.6%
	無回答	1	0.9%	0.8%

問48 問47で「3. 耐震改修工事も建て替えも行う予定はない」、「4. 検討中」と回答した人におたずねします。

耐震改修工事などをしていないのはどのような理由からですか。

(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=28)		H30 (n=51)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	費用が高い	21	75.0%	74.5%
2	申込み手続きに手間がかかる	6	21.4%	7.8%
3	家の中に他人に入ってほしくない	5	17.9%	R3 新規項目
4	工事中の生活に支障が出る	10	35.7%	R3 新規項目
5	工事に伴う荷物の移動が面倒だ	8	28.6%	R3 新規項目
6	信頼できる業者を知らない	5	17.9%	2.0%
7	どんなに耐震化しても大地震（または大津波）にあえば被害は避けられないと思う	7	25.0%	R3 新規項目
8	その他	6	21.4%	13.7%
	無回答	1	3.6%	2.0%

問49 問46で「3. 診断を受けたことはない」と回答した人におたずねします。
耐震診断を受けていないのは、どのような理由があるからですか。
(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=304)		H30 (n=432)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	自分が生きている間に南海トラフ地震は起きないと思う	24	7.9%	8.3%
2	自宅が地震に強いと思っている	10	3.3%	4.9%
3	自宅が地震に弱いと思っているので受ける意味が無い	57	18.8%	18.1%
4	申し込み手続きや部屋の片づけなど、手間がかかる	63	20.7%	25.2%
5	耐震診断の費用がかかる	87	28.6%	26.4%
6	耐震診断のやり方がわからない	68	22.4%	16.7%
7	近いうちにリフォームする予定で、その時に耐震診断をするつもりである	9	3.0%	2.5%
8	近いうちに建て替えるつもりである	14	4.6%	1.6%
9	耐震診断の結果、耐震改修工事などが必要になっても費用が高額で出せない	97	31.9%	38.9%
10	どんなに耐震化しても大地震（または大津波）にあえば被害は避けられないと思う	68	22.4%	26.9%
11	その他	50	16.4%	16.7%
	無回答	9	3.0%	2.1%

問50 県や市町村が昭和56年5月31日以前に建築された住宅の耐震診断や耐震改修設計、耐震改修工事にかかった費用の一部を補助していますがご存知ですか。
(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=492)		H30 (n=659)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	知っている	272	55.3%	60.5%
2	知らない	175	35.6%	33.7%
3	すでに利用した（利用中を含む）	32	6.5%	3.8%
	無回答	13	2.6%	2.0%

問51 問50で「1. 知っている」、「3. すでに利用した（利用中を含む）」と回答した人におたずねします。

どのようにしてこの補助制度を知りましたか。（当てはまるものすべてに○）

	区分	R3 (n=304)		H30 (n=424)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	ポスター、パンフレット	72	23.7%	25.2%
2	知人、親族から聞いて	84	27.6%	21.9%
3	市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて	101	33.2%	30.0%
4	イベント、講演会	5	1.6%	4.0%
5	新聞、広告、広報誌	114	37.5%	39.6%
6	テレビ、ラジオ	85	28.0%	32.5%
7	その他	9	3.0%	1.7%
	無回答	2	0.7%	4.5%

問52 耐震改修工事と耐震改修設計について、自己負担が合わせてどのくらいの金額までなら工事をしてよいと思いますか。（ひとつだけ○）

	区分	R3 (n=492)		H30 (n=659)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	0円	102	20.7%	17.9%
2	10万円まで	106	21.5%	17.0%
3	20万円まで	76	15.4%	16.7%
4	40万円まで	54	11.0%	10.2%
5	60万円まで	27	5.5%	7.6%
6	80万円まで	11	2.2%	1.2%
7	100万円まで	47	9.6%	10.6%
8	100万円以上でもよい	26	5.3%	4.1%
	無回答	43	8.7%	14.7%

問53 住宅全体ではなく寝室や居間などの特定の居室だけは安全性を確保するよう、耐震シェルターや耐震ベッド※の設置、または部分的な耐震対策を行う場合、自己負担がどのくらいの金額までなら実施をしてよいと思いますか。（ひとつだけ○）

※耐震シェルター、耐震ベッドは、地震で住宅が倒壊しても寝室や睡眠スペースを守るものです。

	区分	R3 (n=492)		H30 (n=659)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	0円	126	25.6%	19.4%
2	10万円まで	153	31.1%	28.8%
3	20万円まで	83	16.9%	19.4%
4	40万円まで	47	9.6%	9.6%
5	60万円まで	20	4.1%	4.2%
6	80万円まで	7	1.4%	1.8%
7	80万円以上でもよい	18	3.7%	4.1%
	無回答	38	7.7%	12.6%

問54 今後、耐震化を促進するために、県が市町村等と協力して行う施策として、特に力を入れるべきものは何ですか。(3つまで○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備	671	37.7%	32.9%
2	地区ごとの説明会、パンフレットの配布などによる、耐震化の必要性の啓発や補助制度の周知	643	36.1%	33.6%
3	戸別に訪問しての、耐震化の必要性や補助制度の丁寧な説明	389	21.9%	21.5%
4	耐震診断士の無料派遣	729	41.0%	39.4%
5	耐震設計や耐震改修工事に対する補助金額の引き上げ	574	32.3%	28.4%
6	一気に耐震改修工事でできない場合に対応するための段階的な耐震改修工事への支援	244	13.7%	16.0%
7	昭和56年6月以降で平成12年5月以前の住宅の耐震化(耐震診断、耐震設計、耐震改修工事)への費用の支援	401	22.5%	22.6%
8	民間金融機関と連携した低金利による貸付制度による支援	150	8.4%	7.0%
9	信頼できる設計事務所や工務店の紹介など、悪徳リフォーム予防対策	354	19.9%	17.4%
10	現場見学会など、耐震改修工事の実例に触れる機会の提供	61	3.4%	3.5%
11	オーナーに対する指導などによる、賃貸住宅の耐震化の促進	98	5.5%	6.2%
12	行政には特に期待していない	69	3.9%	3.1%
13	その他	28	1.6%	1.7%
	無回答	41	2.3%	5.2%

地震火災対策について

地震時には、複数の場所で火災が同時に発生し、消防の対応力を超えてしまうことや、家屋やブロック塀が倒壊して道路をふさぎ、火災現場へ消防車両が入っていけないことも想定されますので、大規模火災に発展する可能性があります。

また、地震火災は、ストーブなどが転倒したり、その上に可燃物が落ちてくることにより火災が発生していますが、なかでも、阪神・淡路大震災や東日本大震災では、原因の分かっている火災のうち、6～7割が、電気が復旧した時に、破損した電気製品や屋内配線に、再び電流が流れることにより発生したものでした。

揺れが収まったあと、避難する時にはブレーカーを落とすことが重要となります。

問55 地震時の火災は、大規模火災に発展する可能性があることを知っていましたか。
(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	知っていた	1,669	93.8%	94.8%
2	知らなかった	97	5.5%	4.0%
	無回答	13	0.7%	1.2%

問56 電気器具類からの出火対策に有効といわれている「感震ブレーカー※」を知っていますか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	知っている	854	48.0%	46.3%
2	知らない	913	51.3%	51.8%
	無回答	12	0.7%	1.9%

※感震ブレーカーとは、大きな揺れを感知した場合に、電気を自動的に遮断する装置です。
分電盤タイプやコンセントタイプ、分電盤に設置する簡易タイプなど用途に応じて選択でき、
電気による火災の発生を防止します。

問57 ご自宅に感震ブレーカー（簡易タイプを含む）を設置していますか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	設置している	276	15.5%	13.9%
2	設置していない	866	48.7%	56.1%
3	わからない	620	34.9%	28.3%
	無回答	17	1.0%	1.7%

問58 問57で「2. 設置していない」と回答した人におたずねします。
感震ブレーカーを設置していないのは、どのような理由からですか。
(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=866)		H30 (n=1,064)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	感震ブレーカーのことを知らなかったため	420	48.5%	51.6%
2	必要性を感じていない	95	11.0%	10.0%
3	手間がかかる	82	9.5%	9.4%
4	費用がかかる	221	25.5%	26.0%
5	設置の方法がわからない	209	24.1%	21.7%
6	どこで売っているかわからない	176	20.3%	23.6%
7	その他	52	6.0%	8.0%
	無回答	10	1.2%	1.7%

避難生活について

強い揺れにより、ご自宅に大きな被害が出た場合、避難所で避難生活を送ることになります。発災直後においては、行政が避難所の運営を行うことが困難であるため、避難所の開設や運営について、住民の皆さま自らが行っていただく必要があります。

問59 避難場所と避難所は役割が違うことはご存知ですか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)	
		回答数(人)	回答比率
1	知っている	977	55.0%
2	知らない	780	43.8%
	無回答	22	1.2%

※避難場所：津波などの災害から一時的に避難を行う場所

避難所：自宅が全壊・半壊した場合やライフラインが使用できない場合に、一定期間生活するための場所

問60 あなたの自宅が壊れて、長期間帰宅できなくなってしまった場合、どこで避難生活を送りますか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	最寄りの避難所	839	47.2%	56.9%
2	県内の親せきや友人の家	455	25.6%	19.5%
3	県外の親せきや友人の家	57	3.2%	3.6%
4	自家用車の中(車中泊)	292	16.4%	10.4%
5	テント(野宿)	47	2.6%	3.7%
6	その他	75	4.2%	4.3%
	無回答	14	0.8%	1.5%

問61 問60で「4. 自家用車の中（車中泊）」、「5. テント（野宿）」と回答した人におたずねします。

自家用車の中やテントで避難生活を送る主な理由は何ですか（3つまで○）

	区分	R3 (n=339)		H30 (n=268)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	避難所に多くの被災者が殺到し、入ることができないと思う	193	56.9%	53.4%
2	避難所ではプライバシーが確保できないと思う	234	69.0%	65.7%
3	自分や家族が高齢者であるため、避難所生活が送れるか心配	54	15.9%	13.1%
4	自分や家族に障害や持病があるため、避難所生活が送れるか心配	32	9.4%	11.9%
5	家族に乳幼児がいるため、避難所生活が送れるか心配	10	2.9%	3.0%
6	ペットを飼っているため、避難所生活が送れるか心配	110	32.4%	32.8%
7	その他	29	8.6%	9.3%
	無回答	2	0.6%	1.1%

問62 あなたが避難所生活を送ることを考えた時、特にどのようなことが不安ですか。（3つまで○）

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	食料や水の問題	777	43.7%	44.8%
2	日用品の問題	276	15.5%	12.6%
3	プライバシーの問題	882	49.6%	42.7%
4	人間関係の問題（知らない人が多く不安など）	391	22.0%	20.5%
5	トイレの問題	871	49.0%	53.6%
6	洗濯・入浴の問題	506	28.4%	27.1%
7	避難生活によるストレスや体調不良	687	38.6%	37.0%
8	持病の治療や悪化	126	7.1%	8.0%
9	自分や家族が高齢者であること	161	9.1%	12.0%
10	自分や家族が障害者であること	51	2.9%	3.3%
11	家族に乳幼児がいること	66	3.7%	3.0%
12	ペットの問題	308	17.3%	14.0%
13	不安はない	18	1.0%	0.8%
14	その他	33	1.9%	1.3%
	無回答	22	1.2%	1.7%

問63 あなたは、食事の提供や物資の受入・配布、高齢者の生活支援など、避難所の開設や運営に関わろうと思いますか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	関わりたい	326	18.3%	21.8%
2	関わりたいが、やり方がわからない	439	24.7%	25.2%
3	できれば関わりたくない	335	18.8%	15.3%
4	関わりたくない	122	6.9%	5.4%
5	わからない	530	29.8%	29.0%
	無回答	27	1.5%	3.2%

自主防災組織について

県内各地では、地域の防災力を高めるために自主防災組織が結成され、さまざまな防災活動を行っています。積極的に自主防災組織の活動に参加しましょう。もし、お住いの地域に自主防災組織がない場合は、地域みなさんと協力し、一緒に自主防災組織を立ち上げましょう。

問64 お住いの地域の自主防災組織の活動(訓練、学習会、避難路の点検など)へ参加していますか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	積極的に参加している	136	7.6%	9.6%
2	時々参加している	277	15.6%	19.4%
3	あまり参加していない	373	21.0%	21.8%
4	参加していないが、今後は参加したい	210	11.8%	12.8%
5	参加していないし、今後も参加するつもりはない	236	13.3%	9.9%
6	自主防災組織がない	62	3.5%	4.0%
7	自主防災組織があるかわからない	473	26.6%	20.4%
	無回答	12	0.7%	2.0%

問65 問64で「1. 積極的に参加している」、「2. 時々参加している」、「3. あまり参加していない」と回答した人におたずねします。

お住いの地域の自主防災組織の活動は活発ですか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=786)		H30 (n=965)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	活発に活動している	88	11.2%	11.9%
2	まあ活動している	316	40.2%	45.9%
3	あまり活動していない	217	27.6%	25.6%
4	よく知らない	150	19.1%	14.3%
	無回答	15	1.9%	2.3%

問66 自主防災組織は、これからこういった活動に取り組んでいけばいいと思いますか。
(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	地域の方々への防災研修	648	36.4%	40.3%
2	夜間の避難訓練など様々な想定に基づく訓練	535	30.1%	34.4%
3	地域の要配慮者（高齢者や障害者、乳幼児など）を守る活動	689	38.7%	38.9%
4	地域のつながりを重視した活動（例えば地域の事業所との合同訓練など）	535	30.1%	31.0%
5	周辺の自主防災組織と連携した広域的な活動	391	22.0%	25.9%
6	わからない	442	24.8%	19.4%
7	その他	24	1.3%	2.3%
	無回答	38	2.1%	5.0%

消防団について

消防団は、消防本部・消防署と同様に市町村の消防機関です。

「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、普段は様々な仕事に就いている住民が非常勤特別職の地方公務員として災害などに対応します。

問67 お住まいの地域の消防団に入団していますか。(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	入団し、積極的に参加している	36	2.0%	2.0%
2	入団し、時々参加している	10	0.6%	0.5%
3	入団しているが、あまり参加していない	3	0.2%	0.5%
4	入団していないが、参加してみたい	86	4.8%	5.1%
5	入団していないし、今後も参加する予定はない	1,168	65.7%	63.0%
6	住んでいる地域に消防団があるかわからない	435	24.5%	21.4%
	無回答	41	2.3%	7.6%

問68 問67で「1. 入団し、積極的に参加している」、「2. 入団し、時々参加している」、「3. 入団しているが、あまり参加していない」と回答した人におたずねします。

消防団に入団している方にお聞きします。どういった理由で入団されましたか。
(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=49)	
		回答数(人)	回答比率
1	自分たちの地域は自分たちで守る必要があると感じたから	25	51.0%
2	友人、知人に誘われたから	32	65.3%
3	報酬に魅力を感じたから	0	0.0%
4	人脈を広げられるから	3	6.1%
5	カッコいいと思ったから	1	2.0%
6	その他	1	2.0%
	無回答	2	4.1%

問69 消防団に対し、どのようなイメージを持っていますか。(3つまで○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	地域に密着した防災活動をしている	920	51.7%	53.7%
2	地域を守る意識の高い方が参加している	616	34.6%	33.2%
3	地元の人同士で和気あいあいと活動している	377	21.2%	20.2%
4	体力が必要	521	29.3%	31.8%
5	会社員は仕事があるので参加しづらい	454	25.5%	21.7%
6	土日に訓練等の活動があり、大変	237	13.3%	10.5%
7	若い人が不足している	561	31.5%	32.7%
8	規律が厳しい	33	1.9%	1.4%
9	そもそも消防団とは何か知らない	159	8.9%	5.2%
10	その他	51	2.9%	3.6%
	無回答	60	3.4%	4.8%

問70 どうすれば消防団に興味を持ってもらえenと思いますか。(3つまで○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	団員になると、飲食店等で割引などのサービスが受けられる	391	22.0%	15.5%
2	団員の知人など顔の見える関係の方を誘って一緒に参加する	462	26.0%	27.1%
3	パンフレットやチラシ、テレビCMなどでもっと広報する	623	35.0%	37.6%
4	訓練の回数を減らすなど、団員の負担を軽減する	317	17.8%	15.8%
5	消防団の担っている役割の大切さや必要性をPRする	1,125	63.2%	65.0%
6	消防団は必要ない	27	1.5%	0.6%
7	その他	99	5.6%	5.3%
	無回答	97	5.5%	8.9%

地域の防災力について

南海トラフ地震が発生すると高知県の広い範囲で甚大な被害が発生するため、すぐには支援活動が行われないことも想定されます。このため地域での助け合いが大変重要となります。

問71 過去1年間に地域や職場の地震防災訓練に参加したことがありますか。

(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した	248	13.9%	21.2%
2	職場で行った訓練に参加した	359	20.2%	14.9%
3	その他の訓練に参加した	54	3.0%	4.3%
4	参加していない	754	42.4%	42.1%
5	訓練がなかった、またはあったかわからない	344	19.3%	13.8%
	無回答	20	1.1%	3.7%

問72 問71で「1. 行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した」、「2. 職場で行った訓練に参加した」、「3. その他の訓練に参加した」と回答した人におたずねします。

具体的にはどのような訓練に参加しましたか。(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=661)		H30 (n=767)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	避難訓練	561	84.9%	82.8%
2	消火訓練	304	46.0%	47.7%
3	救出・救助訓練	84	12.7%	16.4%
4	応急手当訓練	120	18.2%	26.7%
5	炊き出し訓練	95	14.4%	22.0%
6	情報伝達訓練	77	11.6%	11.5%
7	介護や支援を必要とする人の介助訓練	35	5.3%	7.8%
8	避難所運営訓練	46	7.0%	9.4%
9	その他	12	1.8%	1.3%
	無回答	7	1.1%	1.2%

問73 地域や職場の地震に関する防災訓練に、どうすれば参加する人が増えると思いますか。(2つまで○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	近所同士で声を掛け合って一緒に参加する	664	37.3%	43.0%
2	訓練の実施をもっと広報する	535	30.1%	26.1%
3	訓練の回数を増やす、参加しやすい日に開催する	365	20.5%	20.2%
4	他のイベントと一緒にを行う	523	29.4%	30.7%
5	参加を義務化する	275	15.5%	14.2%
6	参加賞(非常食)などを出す	417	23.4%	18.4%
7	その他	51	2.9%	3.2%
	無回答	72	4.0%	5.6%

問74 あなたがお住まいの地域の防災力を高めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	地震・津波を詳しく説明する広報活動の強化	833	46.8%	41.4%
2	地域の組織(消防団や自主防災組織)の育成や強化	501	28.2%	28.9%
3	地域の組織(消防団や自主防災組織)の資機材の整備や充実	433	24.3%	24.3%
4	実践的防災訓練の実施、訓練結果に基づく目指すべき地域づくりの話し合い	310	17.4%	22.9%
5	防災士の資格取得など防災リーダーの育成や研修	322	18.1%	18.4%
6	小中学校の防災教育の充実	632	35.5%	32.8%
7	近隣の事業所などとの連携促進	283	15.9%	16.1%
8	地域ごとの備蓄の推進	648	36.4%	36.0%
9	地震・津波による被害を想定し、被災後の復興まちづくりを話し合う地域住民による組織づくり	356	20.0%	19.5%
10	普段から近所の方と顔の見える関係づくりを促進	655	36.8%	41.3%
11	その他	39	2.2%	2.4%
	無回答	67	3.8%	6.3%

南海トラフ地震臨時情報について

南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、調査を開始した場合、調査結果から南海トラフ地震発生の可能性が相対的に高まったと評価された場合等に、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されることとなっています。(平成29年11月1日 運用開始)

問75 「南海トラフ地震臨時情報」が発表されることについて、ご存知でしたか。
(ひとつだけ○)

	区分	R3 (n=1,779)		H30 (n=1,898)
		回答数(人)	回答比率	回答比率
1	知っている	362	20.3%	23.2%
2	聞いたことはあるが、内容はよく知らない	506	28.4%	29.1%
3	知らない	876	49.2%	44.4%
	無回答	35	2.0%	3.4%

※ 南海トラフ地震臨時情報：南海トラフ地震の発生可能性が通常と比べて相対的に高まったと評価された場合などに、気象庁から発表されます。詳しくは、高知県南海トラフ地震対策課ホームページをご覧ください。

問76 県内の各市町村では、南海トラフ地震臨時情報が発表された場合に、地震・津波の発生に備えるため、住民に対して事前の避難を呼びかける地域（事前避難対象地域）を設定しています。

お住まいの地域は、事前避難対象地域ですか。（ひとつだけ○）

	区分	R3 (n=1,779)	
		回答数(人)	回答比率
1	事前避難対象地域である	204	11.5%
2	事前避難対象地域ではない	266	15.0%
3	わからない	1,273	71.6%
	無回答	36	2.0%

問77 問76で「1 事前避難対象地域である」と回答した人におたずねします。

南海トラフ地震臨時情報が発表され、市町村から事前の避難の呼びかけがあった場合、事前避難を実施しますか。（ひとつだけ○）

	区分	R3 (n=204)	
		回答数(人)	回答比率
1	避難する	184	90.1%
2	避難しない	15	7.4%
	無回答	5	2.5%

県の施策について

問78 県が行っている施策のうち特に力をいれるべきものは何ですか。(3つまで○)

	区分	R3 (n=1,779)	
		回答数(人)	回答比率
1	住宅の耐震化の強化	431	24.2%
2	津波からの避難場所や避難路の整備	771	43.3%
3	体育館などの避難所の確保や運営体制の充実	540	30.4%
4	支援物資が避難所に確実に届く体制づくり	725	40.8%
5	人命救助や医療、ボランティアなど県外からの支援を円滑に受け入れる態勢の強化	434	24.4%
6	前方展開型による医療救護体制の推進	244	13.7%
7	防災教育の強化	196	11.0%
8	高齢者や障害者などの要配慮者の方々を地域で支え合う仕組みづくり	345	19.4%
9	地震火災・津波火災対策の推進	99	5.6%
10	津波や浸水による被害を防ぐ防潮堤などのハード整備	272	15.3%
11	南海トラフ地震臨時情報が発表された場合に備えた対策の推進	137	7.7%
12	自主防災組織など人のつながりの強化	143	8.0%
13	発災後の応急対策活動や住民生活に必要な燃料の確保対策	189	10.6%
14	住民生活や経済活動を早期に再建・再開するための復旧・復興対策	359	20.2%
15	その他	41	2.3%
	無回答	38	2.1%

※ 負傷者を病院に搬送できないことが想定されるため、より負傷者に近い場所で医療救護活動が行える体制づくり（地域ごとの医療救護計画の策定、医療支援チームが効果的に活動できるような受援態勢の整備など）を強化していくこと。

自由意見

県や市町村にどのような地震防災対策を望みますか。(自由記入)

Ⅶ 自由回答 (352 ページ) 参照

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

この回答を同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函してください。